

会 議 録

会議の名称	平成14年度西東京市健康づくり推進プラン検討委員会 第4回会議
開催日時	平成14年12月13日（金）13：00 - 15：15
開催場所	西東京市保谷庁舎 保谷保健福祉総合センター3階 プレイルーム室
出席者	（委員）野口委員長、石田副委員長（途中退席）、五十嵐委員、井上委員、栗原委員（途中退席）、桜井委員、佐藤委員、藤吉委員、守田委員、谷戸委員、山極委員（以上50音順） （事務局）福本健康推進課長、尾林係長、大田係長、寺嶋主査
議題	「西東京市健康づくり推進プラン」における市民の行動目標について
会議資料	（事前配布）資料1 第4回委員会資料（別紙補足資料有り） 資料2 第2・3回検討委員会の検討結果のまとめ 第3回会議録 （当日配布）H14.11.15号市報掲載による市民意見
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
発言者名 委員長	発言内容 1．開会
健康推進課長	2．前回検討委員会以降の経過報告について H14.11.15号市報に検討経過の概要を掲載し、市民意見の募集を行ったところ、1件の意見が寄せられた旨を報告した。（提出された当該意見を当日配布） また、11月15日に地域福祉計画策定委員会に対し、検討状況の中間報告をしたことを報告し、主な意見につき報告した。
副委員長	3．第2回検討委員会会議録について 特に変更の必要なしということにつき、情報公開コーナーにて開示する。
事務局 委員	4．議事 <前回までの検討事項の確認について>（資料2） ● 「がんの減少」の節で「40歳未満の壮年期に罹患する場合も多く」という表現があるが、それほど多くはなく、「場合もあり」くらいの表現の方が適切である。また、「ターゲットとなる市民層」で胃がんは特に男性、大腸がんは特に女性とあるが、年齢調整死亡率の性差は有意と言えるレベルではないため、あえて明確にする必要はない。
事務局	● ご意見を踏まえて修正する。 ● 前回欠席したため、2点確認したい。「歯科疾患の減少・歯の喪失の抑制」を統合する旨の報告を受けたが、表現としては併記するのか、いずれかの表現のみにするか。また、目標を数値化しないとはどういう意味か。
委員	● 両者の関連性が強いことから、前回の検討委員会で項目の柱だてとしては統合することとした。しかし、表現としては、現在は、併記する方向で考えている。また、数値化に関しては、議論の中では東京都の計画と比較しながら検討しているが、東京都の計画では歯の健康に関しては事前の調査研究を実施して、「上げる」「下げる」という方向性ではなく、「何%にする」という目標設定がなされている。西東京市では、都と同レベルの調査研究を実施しているわけではないこと、また、一部では目標数値を既に達成している指標もあること等から、「上げる」「下げる」等の方向性を示すことにしたいという考えである。
委員	● 内容の関連性は強いが、両者を併記する方がわかりやすいと考える。数値化しないことに関しては了承した。
委員	● 市民の行動目標で設定すべきものと、成果目標で設定すべきものとで、一部に迷いが生じてきたように見える。市民の行動目標には、市民を主語（主体）とする

事務局	<p>ものを位置付けることで整理すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後、目標の位置付けに迷った際には、今のご意見を踏まえて考えたい。
事務局	<p><市民の行動目標の体系について> (資料1)</p> <p>市民の行動目標は、(1) 栄養・食生活、(2) 身体活動・運動、(3) 休養・ストレス対策、(4) たばこ、(5) アルコール、(6) 歯の健康を守るための衛生習慣、(7) 健康管理・その他の7つを想定している旨、説明。</p> <p>(特に意見なし)</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別の目標毎に議論をした後、体系に係わる意見があれば最後に確認することとして議論を進行する。 <p>一同了承。</p>
副委員長	<p><(1) 栄養・食生活に係る目標設定について></p> <p>目標内容について、事務局より説明。主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「栄養」は健康を考える上で最重要な項目と考える。しかし、ある程度の現状を把握する調査や分析がなければ具体的な目標設定は難しい。まずは、「栄養調査」のようなものを行うということを施策目標等で位置付け、その結果を見てから目標設定すべき。「栄養調査」等を実施することは可能か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、来年度の予算の検討を行っているところだが、その中では「栄養調査」の実施は考えていなかった。今後位置付けられるかどうかは検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもに関しては「虫歯のできないような食生活」に関する目標があるが、高齢者特有の事項に関する目標設定がないのではないかと。高齢者は欠食したり、バランスが悪かったり、食生活が乱れがちである。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康と食生活という関係で捉えれば、生活習慣病の予防という考え方がベースとなろう。そうすると、18歳以上から中年期が本来のターゲットである。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者に対しては、「生活の質」という観点から、むしろ、好きなものを楽しく食べるということが重要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民全体をターゲットとして目標設定するのは難しく、また、目標設定により行動を制限するのが望ましいとも言えないだろう。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の欠食に関しては、健康上も重要であり、目標に加えたい。その他は、今のご意見を踏まえて、生活習慣病の予防の観点から壮年期・中年期を主な対象に考えたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 「虫歯のできないような食生活」では甘味食品、甘味飲料を毎日食べる率を減らすという目標となっているが、虫歯という観点から考えて、甘味食品を毎日食べることは望ましくないのか。成長期であれば、甘味食品を食べることがプラスになる面もあるのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯科医の間でも意見の分かれるところではあるが、虫歯の予防という観点で考えると、甘味食品を食べているか否かよりも、食べたあとの歯磨きを行うかの方が重要である。この目標はなくしてもよいと考える。むしろ、子どもの成長と食生活ということであれば、方針なく間食を与える親がいることが問題である。年齢によって間食が必要な場合もあるが、必要性や必要量を考えた上で間食を行うことが大事である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 間食の実態に関するデータがないため、現状の把握が難しいが、間食の重要性に関するご意見を踏まえて、目標として設定する方向で工夫したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 薄味を心がけるという表現があるが、これは都のように塩分何グラムという表現にはできないかと。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民にわかりやすいかという観点で考えると、塩分何グラムとか、カルシウム摂取量などと言ってもわかりにくいと思う。緑黄色野菜や牛乳を毎日食べているかということの方がわかりやすいという意図と理解したがどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標案はご発言どおりの意図で作成したものである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品別に毎日食べているかどうかは重要か。バランスがよいことが重要で、特定の食品だけ毎日食べているのは逆に望ましくないのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般の人は「バランスがよい」状態をよくわかっていないのではないかと。食品群

委員	<p>の名前があがっているだけでも、重要な情報になると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「油、バター、マヨネーズ」については、意識しなくても毎日食べている食品だろう。コレステロール等を考えるとむしろとりすぎもよくない。目標からはずしてよいのではないか。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 栄養面に関しては現状を把握した調査・分析がないため、目標設定できないと考える。現段階では、食生活面を中心とした目標構成としておき、栄養調査が実現した段階で栄養面の目標を加えることとしてはどうか。ただし、栄養面ではこのような観点が重要ということがわかるよう、本来設定したい目標の例を参考情報として掲載しておくべき。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を踏まえて、食生活面中心に目標設定した現在の案を採用したい。表現方法などについては工夫したい。また、実際の計画書においては、年齢層毎にどのような食品をどのくらい食べることが望ましいのか等、「バランスがよい食事」を知るための情報をあわせて掲載したいと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な意見が出たので、次回、修正案を提示頂き、確認することとしたい。 <p>一同了承</p>
委員長	<p><(2)身体活動・運動に係る目標設定について> 目標内容について、事務局より説明の後、主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 未就学児に関しては「外遊びをさせる親の割合」で、あえて年齢別にしなくてもよいだろう。小中学生は「外遊び」というよりも、運動・スポーツ面で捉える方がよいが、これはデータがないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中高生はアンケート調査の対象になっていないため、データがない。子育て支援のアンケート調査の結果も見たが、運動に関連する設問は別紙としてご提示した資料にあるのみで、意図が異なるため、これをベースとして目標設定するのは難しいと考えている。よい案はないだろうか。あるいは、小中高生は授業等で運動する機会があるため、大人よりも運動しているということで、目標設定しなくてよいという考え方もあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学生の運動に関するものは、別紙にある子育て支援のアンケート結果で代替するのは難しいだろう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会等で、クラブ活動、部活動などで運動関連の部に入っている児童数等を把握しているのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会等にデータの有無を照会する。 <p>その他の事項を含め、一同了承</p>
事務局	<p><(3)休養・ストレス対策に係る目標設定について> 目標内容について、事務局より説明の後、主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 休養・ストレス対策では、成果目標で定めた「心の健康」に関連した目標設定を行う考えである。「悩みを相談できる場所・人」に関しては、当初、成果目標に位置付けたが、主体が市民であることから、行動目標に位置付け直してはどうかと考えているが、いかがか。
(全員)	<ul style="list-style-type: none"> ● 行動目標の方がよい。 <p>その他については特に意見がなく、一同了承</p>
事務局	<p><(4)たばこに係る目標設定について> 目標内容について、事務局より説明の後、主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都や国の計画では、たばこに関しては「健康や体への害を知る」とことと「未成年の喫煙防止」のみが対象とされている。しかし、西東京市では、喫煙者や喫煙量を減らすことまで踏み込んで目標設定してはどうかと考えているが、いかがか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 喫煙は嗜好性があるものではあるが、健康への影響は科学的にも明らかになってきた。思い切ったことに取り込みやすい地方自治体だからこそ、是非、一歩踏み込んだ目標設定をすべき。

	<p>「喫煙者・喫煙量を減らす」ことを目標に加えることで、一同了承。</p> <p><(5)アルコールに係る目標設定について> 目標内容について、事務局より説明の後、主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アルコールの量を量る単位が「合」であるが、若い人を含めてこれでわかりやすいか。 ● アンケート調査の段階では、「3合」のイメージをビール、焼酎、ウイスキーなどの場合に換算した場合の酒量を示して質問をして答えてもらった。計画書にもどのような酒量換算イメージを掲載する考えでいる。 ● 厳密にするために、「3合相当」として、あわせて換算イメージを提示してはどうか。 ● ご意見を踏まえて修正したい。 ● 中高生で「飲酒をいけないと思う人」に関しては、これは一般論として聞いているものではなく、自分のこととしてきている設問か。 ● 自分のことを答える設問になっている。 ● どこで飲酒しているか等はわからないか。未成年の飲酒に関しては、未成年だけでなく、飲食店、カラオケ店などにも対応を迫る必要があるのではないか。 ● 飲食店に対する行政的な指導などの取り組みは、施策目標での位置づけを検討したい。 <p>その他の点についても一同了承</p> <p><(6)歯の健康を守るための衛生習慣に係る目標設定について> 目標内容について、事務局より説明の後、主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都の計画では、子どもの年齢別やかかりつけ歯科医で行われる管理の内容別に詳細な目標設定がなされている。特にかかりつけ歯科医については、細分できるような根拠データがないが、細かく区分して設定することが必要なものか。 ● 歯科の目標は、単に歯石をとることや点検をすることではなく、きちんとした治療を行い、最終的にものをかめる状態にすることにある。そういう意味では、歯石除去をしなくとも、かかりつけ歯科医を持ち、適切な口腔状態を維持できていればよいと考える。細分化しなくてもよいのではないか。年齢別に関しては、3歳児健診等の定期健診があるため、そのタイミングであればデータが把握しやすいということではないか。区分する必要はないと考えるが、データを把握しやすいのであれば分けておいてもよいのではないか。 ● かかりつけ歯科医に関しては、「持っているか否か」はわかるが、「定期的に行っているかどうか」までは把握できていないが、その点についてはどうか。 ● かかりつけ歯科医がいれば、ある程度の管理を受けていると考えてよいと考える。 ● 歯も身体も、定期健診の受診率などは、きちんと把握して分析することが重要である。施策目標の方でも扱うべき。 <p>その他の点についても一同了承</p> <p><(7)健康管理・その他に係る目標設定について> 目標内容について、事務局より説明の後、主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 健康診査を受けていることは重要だが、市民の行動目標としては、市の健診を受けなければいけないわけではない。市で受けている、職場で受けている、その他で受けているなどが分けて把握できるならば、その方が望ましい。 ● アンケート調査では、基本健康診査を受けていない理由として「職場で受けた」等を把握しており、区分して設定することもできる。工夫したい。 ● 「体重コントロール」は、どういうことをしたらコントロールしたことになるかがわかりにくいので、食生活や運動などの具体的に行うべき行動がわかるような部分が設定できていれば、設定しなくてよい。
委員	
事務局	
委員長	
事務局	
委員長	
事務局	
委員	
事務局	
事務局	
委員	
事務局	
委員	
副委員長	
委員長	
事務局	
委員	

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活習慣病等のために体重を気にして欲しい人が気にしないのも問題だが、若い人などが気にしすぎることも問題である。コントロールしている、という表現では気にしすぎているケースが含まれてしまう可能性もあるだろう。 ● 「かかりつけ医」も同じ場所で目標設定してよいだろう。 <p>その他の点についても一同了承。</p> <p><自主活動等への参加に係る目標設定について></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「自主活動等への参加」は第2回の検討委員会における委員のご意見を踏まえて仮に位置付けたが、各種の活動に参加するか否かは個人の好みが出るものでもあり、「参加意向を持つ人の割合」が高くなることを目標としてよいものかどうか、あるいは「自主活動に参加している人、参加したい人の支援、受け皿づくり」の観点から「施策目標」に位置付けた方がよいか。意見をうかがいたい。 ● 初老期、退職後など、人との交流を失うきっかけとなりやすい。自分で出かけていく場所を見つけれられる人はよいが、自分では出かけていく場所を見つけれない人をどうするかを考えることは必要だろう。 ● 特に高齢男性は、出かけられる場所がないと、引きこもってしまう場合もある。きっかけを待っている人はたくさんいる。 ● 「自主活動への参加」には、「交流」と「健康」の2つの目的がある。高齢者等の引きこもりは「交流」が重要な目的となるが、その他の世代は「健康」につながっているかどうか重要である。「自主活動」をひとつの柱だてとせず、「健康管理」の一貫と捉えて、健康診査等と同様に位置付けてはどうか。 ● 各委員の意見をまとめると、健康づくりや交流のための場があることを認知していることが重要であると受け止めた。そういう場を認知しているか否かを問うアンケートの設問などから、活動の場があることを知っている人を増やすという目標設定としてはどうか。 ● ご意見を踏まえて、「健康管理」の中で、工夫して目標設定したい。 <p>一同了承。</p> <p><次回日程について></p> <p>調整の結果、次回日程は、2月17日(月)とする。</p>
副委員長	
事務局	
委員	
委員	
委員	
委員長	
事務局	